

琵琶湖開き協賛「環境湖国セーリングパレード」企画書

2010/2/20作成
By H. Aoki (BYC)

(背景)

琵琶湖は世界でも深い歴史を有する淡水湖であり、環境資源として、生活を守る近畿の水資源として、また都市圏に近接する風光明媚な環境は観光資源として大変貴重であり、他の地域にない貴重な財産を有する環境にある。この湖でスポーツ・レジャーとしてヨットを愛好する我々も環境面・地域活性で貢献できる活動が求められているとともに、地域共生を図っていくことは義務でもある。

風力という自然エネルギーのみで走るヨットは、環境親和性を訴えるには最も適した乗り物であり、その帆走シーンはビジュアル面でも高い効果がある。琵琶湖に映えるヨットの光景は、環境立県滋賀にとってなくてはならないものであり、県民にとっても貴重な財産であり、文化でもある。

(目的)

琵琶湖開きの開催に合わせ、広く市民にヨットの光景を演出し、琵琶湖開きのイベント効果に協力すると共に、環境湖国滋賀県のイメージを高揚する。また、ヨットの帆走光景が滋賀県の観光資源であることを強く訴える。

(内容)

琵琶湖開きイベントの周辺でパレードセーリングを行い、ヨットの帆走シーンを参加者に見せると共に、におの浜岸でのパレードセーリングを行い、ヨットの素晴らしさ、楽しさを市民に訴える。

実施要綱

日時:2010年3月13日(土) 午前中

会場:(開会式)大津市柳が崎1-2 滋賀県立柳が崎ヨットハーバー
(デモ会場) 大津市におの浜沖

スケジュール:

8:30~	受付
9:00~9:15	開会式・ミーティング (主催者あいさつ、パレード説明)
9:20頃	出艇
10:00~10:30	デモセーリング(琵琶湖開き会場付近)
10:30~11:00	セーリングパレード(におの浜沖)

主催:滋賀県立柳が崎ヨットハーバー利用者連絡協議会
(大津市柳が崎1-2 県立柳が崎ヨットハーバー内)

連絡先: 琵琶湖ヨット倶楽部 青木 携帯 090-2354-8099
E-mail aokix@sannet.ne.jp
草津ヨット協会 浅井 携帯 080-5340-7592
E-mail yix06713@nifty.com

準備:

- ・参加艇呼びかけ: 柳が崎ヨットハーバー艇置者、学連、近隣ヨットハーバーの仲間(クルーザーも歓迎)
- ・「ヨットは環境湖国滋賀県のシンボル」ののぼりを使用する(一部艇のみ)
- ・運営母船はBYCレスキューの「夕凧」
- ・レスキューボート:各団体でレスキューボートを供出(燃料代は各団体持ち) BYC、KSYC、BJYC、佛大、龍大、滋賀県連、

注意点:

- ・琵琶湖開きのイベントの運営を邪魔しないよう注意して航行する。
- ・琵琶湖開き終了後、におの浜沖でパレードを実施する。

艇数目算(目標):	
シングルハンド	15艇
ダブルハンド	15艇
OP	5艇
学連(470、スナイプ)	15艇
クルーザー	10艇



環境湖国セーリングパレード

2010/2/20作成
By H. Aoki (BYC)

琵琶湖開きに合わせ、イベントを盛りたてる背景演出として、セーリングによるパレードを行う。

琵琶湖開きイベントの周辺、湖岸沿いをセーリングし、ヨットの素晴らしさや環境面での優しさなどから、湖国滋賀にとって、無くてはならない資源(環境面、観光面、教育面などの面で)であることを訴える。

前回 平成21年12月6日のシーン



(今回は、環境のほりのみ使用し、ヨットの素晴らしさを訴える。)



ヨットは環境湖国
滋賀県のシンボル

環境のほり



琵琶湖ホール沖をセーリング(参考)



湖岸からのパレード風景(参考)